

付録3 新型コロナウイルス感染拡大の状況における大学の対応について（佐賀大学）

1. 新型コロナウイルス感染症に対応して、教育課程の実施、授業の方法等について、学生の学習の質を維持するために行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄
オンライン授業のポータルサイトの開設やオンライン会議ツールの授業利用等に関する教員向け手引きの作成、FD講習会の開催を行い、教員が遠隔授業を導入するための支援を行った。
遠隔授業の場合のアクティブ・ラーニング例の提示や、シラバス作成の手引きに遠隔授業の留意点を盛り込む修正を行い、コロナ禍においてもアクティブ・ラーニングが実施できるようにした。その結果、令和2年度のアクティブ・ラーニング導入率は99.8%となった。
教育改善支援の取組として、教育方法の好事例15件を採択し、設備費等の経費支援を行い、教育改善を促進した（「令和2年度教育改善支援取組採択事業」）。令和3年度はその好事例に基づいたFDを実施したり、全教員向けに好事例の動画を公表したりすることで、教育改善の活性化と水平展開を促している。
令和2年度教育改善支援取組採択事業の1つである、本学教員が開発した「オンライン・ライブ授業とオンデマンド授業を活用した改良型ハイフレックス授業」では、対面とオンラインを同時に行うことができ、学生が対面／オンラインの受講方式を自由に選択できる仕組みを授業担当教員のみで実現できるよう工夫した。

2. 新型コロナウイルス感染症に対応して、学生の学習及び生活の支援について行った取組の概要を確認したい。

大学回答欄
コロナ禍における多様な教育ニーズに対応するため、教室内受講者と外部（オンライン）受講者に同じ映像・音声を伝えられる設備や授業動画収録用スタジオ、個別学習からアクティブ・ラーニングまで対応可能な教室等の整備を行った。
本学独自の新型コロナウイルス感染症の影響を受けた学生への経済的支援として授業料減免による支援、校友会緊急支援奨学金、佐賀大学基金（修学支援基金）を実施し、約1,450万円の経済的支援を行った。
留学生に対する学費及び生活費の支援として、「学びの継続」のための学生支援緊急給付金に申請したが受給対象外となった者のうち、経済的困窮者と本学が認めた者に対して佐賀大学基金より15名750千円の支援を行った。また、卒業生より米（150kg）の寄贈を受け、希望する留学生30名に配布した。
従来の留学プログラムと同様に、オンライン留学についても経費の一部を支援した。